

Kita no Kawaraban

北 の 瓦 版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル
 Tel(011)251-0101代/FAX(011)271-4804
 編集人：事務局長 北山 隼／定価：1部50円／隔月1回1日発行
 会員の年間購読料は会費に含めていただいております。

貯める・安心・借りられる——
 掛金ひとつで3つの備え
商工貯蓄共済

この先、
 アカライ。



お申し込みは

商工会

北海道商工会連合会

平成16年度

臨時総会開催される

道商工連の平成十六年度臨時総会が三月十日、札幌市内のホテルで開かれ、全道百七十八商工会から百七十二人（委任状二十一人）の商工会長が出席し、提案の当年度予算の更正と新年度計画及び予算を原案通り決定した。また、引き続き開かれた道商工共済協同組合の臨時総代会でも、新年度計画等を原案通り決定した。

冒頭あいさつに立った有岡会長は新年度計画について、組織運営のスローガンを「忍耐から組織再生へ・新連携による地域の強みの更なる充実と発揮」「商工会の経営革新事業とまちづくり事業等への支援強化」「財政基

盤の安定」「役職員の資質向上

「商工業者の福利厚生・経営対策等の充実と促進」の重点事業を柱に積極的に取り組む。更に、組織改革を進めるにあたって「商工会活動の主役は商工業者」という組織の原点の再認識であり、組織の一体性を大切に、商工会運営に携わる一人一人が変らなければ組織は変わらないと力強く述べた。

質疑のなかでは、産業間連携の必要性が提起され、道商工連としても一次産業を基幹とする商工会地域が大多数であることを踏まえ、積極的な取組みを行うことが確認された。

道商工連一般会計の新年度予算の総額は、九億六千八百万円（対前年度比四・四％減）となっており、各商工会の厳しい財政状況を勘案し、今年から全国大

平成17年度 道商工連 通常総会

道商工共済協同組合通常総代会

とき 平成十七年五月二十五日（水）午後三時
 ところ ホテル札幌ガーデンパレス

（札幌市中央区北一条西六丁目）

議案・平成十六年度事業報告について
 ・平成十六年度一般会計収支決算報告について
 ・その他

会の負担金を徴収しないこととした。

道商工共済協同組合臨時総代会では、生命傷害共済事業の適切な管理運営、金融事業については、組合員のために緊急融資及び積立金範囲内融資を実施するとともに、債務保証業務並びに償還業務の適正化などを図ることとした。

全道商工会長研修会

臨時総会に続いて開かれた全道商工会長研修会では、全国商工会連合会専務理事の寺田範雄氏（昨年五月に就任）が「商工会を巡る諸課題」と題して講演した。

寺田専務理事は、平成十七年経済見通しと商工会の現状と課

題をわかりやすく解説。①合併が進み商工会の数が減って行き、会員数も毎年一万五千人減少し、全国で百万人を割りそう。何とか歯止めをかけた。②商工会予算の基礎的な補助については北海道と市町村への働きかけが必要。③経営指導員への相談ニーズが複雑化している。資質の向上に努める。④合併と広域連携に多くの商工会が取り組んでいる。行政が商工会議所との合併を働きかけている県があるが、一商工会の単位を大きくして行政に對抗していかねばならない。と説明。最後に、会員の立場を代弁する「商工会長のリーダーシップがこれまで以上に求められている。全道の商工会長に期待している」と語った。

人事異動

道経済産業局人事(四月一日)

▽産業部中小企業課小規模企業係長(総務企画部企画課指導係長)金澤亜由美▽総務企画部会計課給与係長(産業部中小企業課小規模企業係長)神田美好

道人事(四月一日)▽経済部

長(十勝支庁長)近藤光雄▽経済部商工振興課参事(株式会社旭川産業高度化センター総務企画部長)黒津俊雄▽同主幹(企画振興部交通企画室交通企画課

主幹)和泉豊樹▽同主査「商工団体」(商工振興課主査「中小企業支援」)勇崎比呂志

道商工連人事(四月一日)▽

業務課長(業務課長兼管理課長)市川正親▽指導情報課長兼広域連携・合併支援課長(指導情報課長兼組織課長)赤松勲▽管理課長(後志支所長)澤田弘志▽空知支所長(釧路支所長)石田章雄▽組織課長(空知支所長)岩間一男▽釧路支所長(釧路支所主幹)中井卓▽後志支所長(指導部主幹)島谷制剛▽留萌支所長(総務部主幹)石橋孝▽

業務部主幹(上川支所主幹)田端良子▽指導部主幹(振興部主幹)藤田厚子▽総務部主幹(胆振支所主幹)曾我部由美子▽総務部主幹、中小企業大学校旭川校派遣(指導部主幹)成澤弘明▽指導部主幹(上川支所主幹)出貴之▽上川支所主幹(総務部主幹、中小企業大学校旭川校派遣)高橋彰▽留萌支所主幹(同主査)小野喜美▽総務部主幹(地域支援課係長)小納谷大志

【退職】(三月三十一日)▽留

萌支所長塚田洋哉▽空知支所主幹赤坂晴子

商工会人事(四月一日)▽厚

晴れの黄綬褒章



中島道商工連理事

松山管内厚沢部商工会の中島修一会長(61歳)=道商工連理事=が今年春の褒章で、晴れの黄綬褒章を受章する。

同会長は、飲食料品や衣料品などを扱う総合小売業を営み、堅実な経営と高齢者や身障者に配慮したバリ

アフリーの導入など地域生活者に配慮した店づくりを進め、商店街の核店舗として地域社会に貢献してきた。

また企業経営の傍ら、平成3年に厚沢部商工会長に就任。以来、現在まで14年にわたり、温厚な人柄と卓越した指導力をもって商工会員の融和と連携強化を図り、地域小規模事業者の経営近代化と商工会組織の拡充強化に尽力された。

さらに、同12年から松山管内商工連会長、道商工連理事を務め、全道の視野に立って地域商工業の振興と全道商工業者の経営安定に貢献し、これらの功績が認められ今回の褒章受章となった。

なお、氏はこれまで通産大臣表彰、道知事表彰(道産業貢献賞)など多くの表彰を受けている。

《新商工会長誕生》



二月二十三日開催の臨時総代会において選任。

由仁町商工会長 大橋一正(おおはしかずまさ)企画印刷(株)取締役会長。平成5〜理事、同15〜副会長。民生児童委員。65歳。

田村商工会事務局長(新任)塚田洋哉▽福島町同(福島町商工会経営指導員)小泉五郎▽七飯町同(新任)林須美一▽恵山町同(新任)三ツ谷脩▽南茅部町同(新任)安田大春▽蘭越町同(新任)高橋幸雄▽共和町同(新任)浅井敏勝▽三笠市同(新任)工藤駿一▽江部乙町同(新任)田中良吉▽秩父別町同(新任)高橋邦夫▽永山商工会同(新任)米山眞二▽羽幌町同(新任)江幡昭▽利尻町同(新任)澤谷勉▽小清水町同(新任)立花民衛▽西興部村同(新任)春日憲一▽洞爺村同(新任)星良治▽大滝村同(新任)和泉順一▽日高町同(新任)武井繁之▽平取町同(平取町商工会経営指導員)中島公昭▽新得町同(新任)貴戸延之▽本別町同(新任)長尾秀典▽白糠町同(鶴居村商工会事務局長)中村

一馬▽厚田村商工会経営指導員(道商工連経営指導員研修生)小笠和也▽福島町同(木古内補助員)武田尚人▽歌登町同(厚田村経営指導員)竹内睦▽丸瀬布町同(大成町補助員)若林修▽湧別町同(上湧別町同)三宅正人▽平取町同(丸瀬布町経営指導員)釜沢等▽忠類村同(忠類村補助員)山崎和夫▽別海町同(羅臼町同)五十嵐和夫▽中標津町同(別海町同)穴戸淳一▽羅臼町同(道商工連経営指導員研修生)武田太一

【退職】(三月三十一日)▽厚

田村商工会事務局長江川政信▽函館市亀田同福士進▽福島町同出羽正機▽七飯町同藤田尚▽戸井町同尾山達夫▽恵山町同菅藤泰雄▽南茅部同木下隆▽蘭越町同山岡信幸▽真狩村同加藤勲▽共和町同黒田作治▽三笠市同高橋英昭▽江部乙同鈴木光夫▽秩父別町同鈴木清▽永山同斎藤和彦▽羽幌町同高丸安司▽利尻町同柴田喜義▽小清水町同樫原功▽西興部村同安藤勝彦▽洞爺村同山本國一郎▽大滝村同宇佐美雅昭▽日高町同馬場三比古▽平取町同姉崎正▽新得町同佐藤隆明▽本別町同菅野明▽白糠町同小倉昌平▽歌登町商工会経営指導員桐原利彦▽湧別町同佐々木征一郎▽忠類村同佐藤博志

道内二地域で広域連携スタート

道内で初となる広域連携協議会が四月一日、二地域（羊蹄山麓・釧路西部）でスタートした。

去る三月十七日後志管内真狩村において、羊蹄山麓ブロック商工会【蘭越町（堀川強太郎会長）、ニセコ町（檜原和雄会長）、真狩村（陰能次一会長）、留寿都（石川博義会長）、喜茂別町（新居修二会長）、京極町（藤澤喬会長）】の六商工会が、羊蹄山麓商工会広域連携協議会（拠点商工会 真狩村商工会）協定書調印式と設立総会を開催した。

当日は、各町村長（一部代理助役・収入役）が立会人として出席して、協定書の調印を行った。その後設立総会を開催。協議会会長に真狩村商工会陰能会長を選出し、平成十七年度の事業計画等が承認された。

羊蹄山麓ブロックの商工会は、平成十四年七月二日の商工会合併・広域連携問題ブロック別会議を皮切りに、広域連携等研究会（会長 真狩村商工会陰能会長）商工会長会議も含め、延べ二十九回会議を開催、その後十七年二月から三月にかけて六商工会が臨時総会を開催し、今回の設立総会の開催となった。

当協議会では、創業や経営革新の支援、広域的プロジェクトの実施等を行うため、広域担当職員を拠点商工会に配置し、広域連携による事業集約化、経営支援の高品質化及び組織基盤の強化を目指している。



また、三月二十五日には釧路市内ホテルにて、釧路西部地域【阿寒町（金山泰明会長）、鶴居村（大津泰則会長）、白糠町（清水一芳会長）、音別町（佐



藤紀二会長）の四商工会が、釧路西部商工会広域連携協議会（拠点商工会 白糠町商工会）の設立総会を開催した。

協議会会長に白糠町商工会清水会長を選出し、平成十七年度の事業計画等が承認された。

釧路西部の商工会は、平成十五年六月十七日の事務局長会議を皮切りに、十五年度は三十四回、十六年度は補助事業である広域指導体制検討事業により三十六回会議をへて、今回の設立総会の開催となった。

当協議会では、毎月一回協議会内指導員による広域支援会議を開催し、中小企業経営革新支援法による認定企業づくりや企業診断、創業支援に取り組む。また、補助事業により広域振

興ビジョンづくりも行う。



一方、合併については、去る三月二十五日、上磯町（宮崎高志会長）と大野町（花巻徹会長）の商工会が、両町の助役を立会人として「合併基本協定」の調となる予定。

印を行い、平成十八年四月一日の合併を目指している。

そのほか、平成十八年四月一日に四地域十一商工会で合併が予定され、北海道の商工会は、一七八商工会から一七〇商工会

商工貯蓄共済制度

制度のあらまし

この制度は、商工会の事業として国から認められ、全国の商工会員が加入している商工会独自の共済制度です。月々わずかな掛金で、「貯蓄」「生命保障」「融資」の3つの機能を組み合わせた、商工会員とご家族、従業員のみなさまのための制度です。

商工貯蓄共済の3つの特徴

1 貯蓄

自己資本の充実



毎月の掛金は、その大部分が貯蓄積立金となり、知らず知らずのうちに資金が積み立てられ、自己資本の充実が図られます。

2 保障

企業と家族に安心



掛金の一部が割安な保険料に充てられ、万一の場合、保険金をお受け取りになることができ、ご家族も安心です。

3 融資

企業の資金繰り



一定の条件のもとに低利な事業資金のあっせんが受けられ、企業の資金繰りが安定します。

※融資あっせんの際には、北海道商工共済協同組合による債務保証を受けるため、商工貯蓄共済制度の新規加入時には、同組合への加入が必要です。（出資金1口200円）



特産品販路拡大への 広域的な取組み

上川管内の石北ブロック(当麻町、比布、愛別、上川町、東川町)の五商工会青年部ではそれぞれの特産品を詰め合わせた共同による「ふるさと小包(ゆうパック)」での販売を行う。

この取組みは、かねてから青年部の広域的な活動として実施されてきた上川管内商工会青年部石北ブロック協議会が企画したもので、各町の青年会議(農業者、町職員等)との交流会を実施し、検討を重ねて、このほど実現となった。

ふるさと小包の内容は、青年会議との交流会で厳選したそれぞれの町の特産品を詰め合わせた「大雪の麓「ふもと」セット」と「大雪の食卓セット」の二種類で、「大雪の麓セット」は、

層雲峡乾燥ラーメン(上川町)、きのこアラカルト(愛別町)、味菜つけもの(比布町)、手作り仙年みそ、なんでもこい漬け



(東川町)、今摺米「いまずりまい」(当麻町)となっており、「大雪の食卓セット」は、大雪高原牛、層雲峡乾燥ラーメン(上川町)、きのこカレー、きのこ詰合せ(愛別町)、苺ワイン、苺ジャム(比布町)、大雪清流物語【ワイン】(東川町)、今摺米(当麻町)と「食卓を囲む・一家団らん」をテーマにした詰め合わせとなっている。

広域でいずれも異なる販売元であるため、商品の問い合わせ先などは、幹事商工会青年部としてこの事業の取りまとめを行ってきた当麻町商工会青年部が一元して担当し、当麻町商工会がサポートを行う。

広域的な取組みとして、また、

青年部による新たな事業展開として、当麻町商工会青年部の菊川哲平部長は、「一つでも多くの特産品が販売できれば」と期待を寄せている。

【問い合わせ先】

当麻町商工会青年部

☎0166-84-2325

取扱期間は、平成十七年九月三十日まで。



商品券の 利用拡大に期待 豊富町商工会

サロベツ原野を有する豊富町では春を迎え、鮮やかな黄色の花をつけたエゾリュウキンやエゾカンゾウが湿原を黄色のじゅうたんに変えつつある。テレビ等で紹介され、人気者となった世界一小さい哺乳類であるエゾトガリネズミの活動も活発となってくる季節を迎えた。

豊富町商工会(木下耕一会長)では、消費流出の防止や消費者へのサービスの充実を図るため昭和六十二年に協同組合サロベツドリームスタンプ会(高倉宏理事長)を設立し、温泉入浴券、交換や記念日ケーキ交換、小学

生プールの利用券交換、母の日カーネーション交換等の地元住民と密着したイベントを数々実施してきた。

昭和六十二年から発行している額面五百円と千円の二種類の商品券は発行高も年々順調に伸びており、消費者や各種団体から多くの利用が期待されている。

しかし消費者からの利用が増えるにつれて「共通商品券の利用がスタンプ会加盟店に限定されている」との不満の声が聞かれるようになってきたことから、同スタンプ会では、商品券の価値を高め、厳しい経済状況の中、多くの店で利用できるようにと、賛助会員(商品券取扱い協力店)

の制度を設け、四月一日より本事業をスタートすることになった。

賛助会員は年会費や共通商品券の交換手数料がなく、新たに農協Aコープやセイコーマートを含む小売業十八店、建設四社、飲食十八店、旅館三件、サービス関連九社、理美容四店の合わせて五十六店が賛助会員として加わり、現在の組合加盟店六十店を加えて百十九店で商品券の利用が可能になった。地元消費者からは、入学祝や進学祝いのお返し等でも利用しやすいとなったと、大好評で今後、行政等を含めた共通商品券の利用拡大がますます期待されている。



町の新たな土産物に 宝酒造の焼酎 「ZIPANG」

第二回北海道遺産に選定された網走管内丸瀬布町の森林鉄道「雨宮二十一号」をラベルにあしらった宝酒造の焼酎「ZIPANG(ジパング)」(七百ミリ、甲類)が、同町内限定で発売された。関係者は「町の新たな土産物に」と期待している。

支 所

町、町商工会、町観光協会などが、北海道遺産の選定を記念して宝酒造に生産を依頼したもので、初回は六百本を町内限定発売し、要望があれば地方発送も行う予定だ。

宝酒造は、これまで摩周湖（釧路管内弟子屈町）など四件の道遺産登録地のオリジナルラベル「ZIPANG」を生産しており、昨年の第二回選定で登録された二十七件の中では「雨宮二十一号」が第一号である。

〇1584-7-2121
 〇1584-7-2121



オリジナルラベルは「雨宮二十一号」の写真の内側にして貼られ、のぞき込むと、煙をはいで走る姿を見ることが出来る。外側は「雨宮二十一号」の歴史などが記されている。

「雨宮二十一号」は一九二八年（昭和三年）に製造された国

振 胆
 支 所
 有珠山噴火五年
 「復興感謝祭
 inとうや湖」

二〇〇〇年の有珠山噴火から丸五年を迎えた三月三十一日、「有珠山噴火五年 復興感謝祭 inとうや湖」が虻田町洞爺湖温泉町で行われた。

被災した町に活気を取り戻そうと噴火二年後から毎年実施されている。

メモリアルイベントは、噴火した十三時七分のサイレンで開始し、災害の教訓を学ぼうと火山遺構バスツアーを実施。

夜には、歩道に並べられた約五千個のアイスクャンドルが一斉にとり、町を幻想的な雰囲気



気に包み込んだ。

最大のイベントとなった「湯けむりドリンクラリー」（実行委員長・白井商工会副会長）は、百名を超す宿泊客を始めとする八百人の参加者が温泉街のはしご酒に挑戦した。参加店は、居酒屋、スナック、ホテル内のバー、食堂など四十一店。

午後七時に遊覧船の汽笛を合図にスタートした参加者は、イルミネーション、アイスクャンドルで彩られ、最近各所に設置された足湯・手湯など温泉街特有の風情をほろ酔い気分で行き交わった。その後、抽選会でも盛り上がり、

日 高
 支 所
 「ニシパの恋人」を
 「100%原料とした
 トマトアイス」を開発

「ニシパの恋人」を
 「100%原料とした
 トマトアイス」を開発

日高管内商工会青年部連合会（山中智彰会長）は、平成十六年度の広域振興事業「ふるさと・ゆめ実現化事業」として日高管内の豊富な資源等をより具体的に研究開発し、地域を代表する特産品としての商品化及び起

業化を目指した「北の食宝」ぞつこん日高2004」を実施第一弾として、平取町特産のトマト「ニシパの恋人」を100%原料とした「トマトアイス」を開発し、今年三月一日、日高管内九町で一斉販売を開始した。

「トマト」の町で知られる平取を広くPRしようと、二年前からトマトを活用した商品化を進め、無塩トマトジュースを原料に使用し札幌の食品加工業者に製造を依頼した。その結果、一口目はほのかな酸味が広まり、二口目からは、自然な甘さが感じられるまさに平取特産「ニシパの恋人」の名にふさわしい商品が完成した。

平取町商工会青年部の藤原謙和部長は、「試食を重ねた自信

作。まずは、地元で根付かせたい」と販売促進に大きな意欲を見せている。

今年度は、この商品を中心に各町並びに道・札幌市が企画するイベント等に参加することで、より多くの人々に日高の観光と食を楽しんでもらおうと期待が高まっている。

また、管内青年部では第二弾として、新たな観光・食資源の探求とPRする「販促情報発信事業」活け行け日高路」を実施することで、日高地域の経済振興に寄与できると意気込んでいる。

「トマトアイス」に関する問い合わせは平取町商工会青年部まで。

〇1457-2-2329
 E-MAIL biratori@coral.ocn.ne.jp



ビュースポット



浜益村商工会会長

大山 弘行さん

大山商工会長(五十八歳)は、平成十二年四月商工会長に就任し、二期五年目。平成十五年五月から道商工連副会長、石狩管内商工連会長を務める。平成九年一月に浜益村議会議員に当選し、現在三期目。

浜益村は、札幌市と留萌市を結ぶ国道二百三十一号の沿線、多くの奇岩が連続する風光明媚な日本海オロロンライン上に位置し、古くはニシンの千石場所として名を馳せた土地柄。

温暖な気候に恵まれ、メロンやりんご、サクランボといった果物の生産が盛んなことは意外と知られておらず、季節になれば村内の観光農園でいちご狩りやサクランボ狩りが楽しめる。また、最近では、同村産の黒毛和牛が品評会で高い評価が得られ、新たな特産品にと期待が寄

せられている。

同村は、近隣の石狩市、厚田村との自治体合併が決定しており、本年十月一日に新「石狩市」としてスタートする。

村の人口は、二千六百六十一人(十六年三月現在)で、最も人口の多かった昭和二十九年の九千人と比べ四分の一にまで減っており、しかも、六十五歳以上の高齢者が四十一%を占め、全道一の高齢者率となっている。人口の減少や高齢化が進む中で、財政状況や高齢者対策の充実など村の将来を考慮しての合併選択だったという。



浜益村商工会は、会員数が七十二名で、いわゆる小規模商工会として厳しい財政状況のなか、例に漏れず、購買力の流出や経営者の高齢化、後継者難といった問題を抱える。先に述べた自治体合併が決定したこともあり、商工会でも、隣接する厚田村商工会との合併協議に入っている。大山会長は、「補助金の削減が進み、会員も減少していく中では、商工会合併が最善の選択だと考えている。組織・財政基盤を整えてこそ会員サービスを維持することが可能だと考えている」と話した。

● 企業紹介

(有)益増(ますます) 商事

浜益郡浜益村大字川下村五二 同社は昭和三十年に、先代の大山寛氏が鮮魚店「大山商店」として開業。平成九年にコンビニエンスストアに転業したのを機に、平成十年に法人化した。浜益村の「益」と利益の「益」、その利益が「増」すようにというのが社名の由来。親子二代で住み良い村づくりをしたいという願いを込めて名付けた長男の清愛(すみよし)さんが札幌市の大学を卒業後帰郷し、現在、後継者として店を切り盛りしている。資本金三百万円、従業員十名。

観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に
心をこめたおもてなし。

【ご宿泊】
【ご婚礼】
【ご宴会】
【ご会合】



ホテル 札幌カーテンパレス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>

レストラン
スジカ
中国料理
四川飯店
地下レストラン
味の会
そば処
山福
焼肉処
焼天庵
ゆきぐに

経営者の退職金制度を知っていますか？

「小規模企業共済」ってのは
経営者が事業をやめたり、
役員を退いたときなどに備える

退職金制度
なんだって！

掛金は
節税
にもなるのよ！

将来もらえる共済金は
一括で受け取ると
退職所得扱い
になって税制上の
Wメリット！

●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

お近くの 商工会 又は 北海道商工会連合会 へ

【制度内容は次のホームページをご覧ください。〈<http://www.smrj.go.jp/>〉】

…………… 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。……………

延べ五十七社と商談

商工会地域特産品等販路開拓支援事業展示・商談会

道商工連では、「平成十六年度商工会地域特産品等販路開拓支援事業展示・商談会」を三月十日、札幌市内のホテルで開催した。

同展示・商談会は、商工会地域のむらおこし事業等で開発された地域特産品を展示、流通業者や消費者を招待し、試飲・試食等により特産品のPRを行うとともに、商工会地域の製造業等と流通業者との仲介を行い地域特産品の販路拡大を目指して平成元年度から毎年実施しており、今年で十六回を迎えた。

今年は、二十六商工会から三



景況感来期回復の兆し

中小企業景況調査結果

道商工連は、道内商工会地域の平成16年度第四・四半期1－3月期実績による「中小企業景況調査」の結果をまとめた。

それによると、前年同期と対比した景気動向指数D・I(増加・好転企業割合から減少・悪化企業割合を引いた指数)は、全業種(製造・建設・小売・サービスの4業種)の全項目(売上・採算・資金繰り・業況)にわたり、減少・悪化企業が増加・好転企業を上回った。

しかし、来期(4－6月期)の見通しについては、前年同期で比べると建設業が24.3ポイント、製造業18.8ポイント、サービス業4.1ポイント、小売業では2.0ポイントマイナス幅が縮小。また、前期比においては建設業35.1ポイント、製造業21.1ポイント、小売業20.8ポイント、サービス業5.2ポイントマイナス幅が縮まっており、景況感到回復の兆しが見えている。

◆ 業況天気図 (前期比)

期		業種	製造業	建設業	小売業	サービス業
平成16年度	1月～3月					
	4月～6月					
	7月～9月					
	10月～12月					
平成17年度	1月～3月					
	4月～6月 (見通し)					

DI値	100.0～50.1	50.0～20.1	20.0～0.0	△0.1～△20.0	△20.1～△50.0	△50.1～△100.0
表示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雪	 吹 雪

業を含めると延べ五十七社の流通業者と商談があり、大きな成果があった。

また、会場で行ったアンケートでは、流通業者から「総体的に値段が高い。土産品としての位置付けだと思いが、もっと道民の口に入りやすい価格設定にして欲しい」。また、消費者からは「地産地消でこれからも良い商品を販売して下さい」など価格等に対する改善点の提案や励ましのアドバイスがあった。

道商工連では、創業率の向上を図り、地域の産業活性化に資するため、創業塾を開催し、これまで多数の起業家を輩出しているが、本年度も別表の通り創業塾を実施する。

創業塾の受講生募集

第一回目の一般コースは、六月十一日から土・日の五日間で道商工連の研修室で開催し、研修内容は、創業にあたっての基本的知識と、実践的ノウハウを集中的に学び、創業計画(ビジネスプラン)作成まで行う。

また、異分野進出、業種転換や新たな成長段階に進むための「第二創業塾」も札幌市内のほか商工会地区での開催も予定している。受講料は各コースとも三千円。

申し込み・研修内容等詳細は道商工連振興部(☎011-251-0102)まで。

コース名	日程
一般	6月11日から
女性向け	7月10日から
ステップアップ	8月21日から
バイジョニアップ	9月17日から
第二創業塾	10月16日から
〃	11月12日から



研修のお知らせ

● 中小企業大学校旭川校

「すぐわかる経営者の財務講座」

▽定員30人▽期間6月2日
(木)～3日(金) 2日間▽受講料2万1千円

「ホームページの戦略的活用」

▽定員20人▽期間6月8日
(水)～9日(木)、7月20日
(水)～21日(木) 4日間▽受講料3万7千円

「新規創業支援研修(札幌市開催)」

▽定員30人▽期間6月11日
(土)～12日(日)、15日(水)、
18日(土)～19日(日) 5日
間▽受講料1万円

「商談技術を磨いて売上アップ」

▽定員30人▽期間6月14日
(火)～16日(木)、7月12日
(火)～14日(木) 6日間▽受講料5万2千円

「経営数字の見方・活かし方」

▽定員30人▽期間6月21日
(火)～23日(木) 3日間▽受講料3万円

「女性リーダー養成コース」

▽定員30人▽期間7月5日
(火)～7日(木) 3日間
申込先は〒078-8555、
旭川市緑が丘東3条2丁目2-
1、中小企業大学校旭川校研修

課。各コースとも定員になり次第締切り。

同校には全個室五十室、談話室、体育館あり、寮費一泊一千五百円、食事一千九百円(三食分)で寮や校内食堂を利用できる。

関係行事予定

5月:

＜石狩＞ ◇11日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇12日 管内

青連通常総会(札幌市)
＜渡島＞ ◇20日 管内商工連通常総会(函館市)

＜桧山＞ ◇20日 管内商工連通常総会(江差町) ◇28日 管内

職員協通常総会(今金町)
＜後志＞ ◇11日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇23日 管内

商工連通常総会(仁木町) ◇25日 管内商工会長懇談会(札幌市)

＜空知＞ ◇10日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇11日 管内

青連通常総会(月形町) ◇23日 管内商工連通常総会(岩見沢市)

＜上川＞ ◇11日 管内商工連會長会議(旭川市) ◇20日 管内

商工連通常総会(旭川市)
＜留萌＞ ◇7日 管内青連通常代議員会(天塩町) ◇8日 管内

内女性連通常代議員会・留萌ブロック女性部員研修会(天塩町)

◇11～13日 女性部員管外視察研修(弟子屈町) ◇24日 管内

商工連通常総会(留萌市)
＜宗谷＞ ◇11日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇12日 管内

青連通常総会(札幌市) ◇20日 管内商工連通常総会(稚内市) 28日 管内職員協通常総会(中頓別町)

＜網走＞ ◇9日 管内青連通常総会(小清水町) ◇11日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇24日 管内商工連通常総会(札幌市)
＜胆振＞ ◇10日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇12日 管内青連通常総会(札幌市) ◇24日 管内商工連通常総会(札幌市)
＜日高＞ ◇9日 管内女性連通常代議員会(日高町) ◇9日 管内青連通常代議員会(静内町) ◇24日 管内商工連通常総会(札幌市)
＜十勝＞ ◇23日 管内商工連通常総会・正副会長会議(帯広市)
＜釧路＞ ◇6日 管内青連通常総会(弟子屈町) ◇23日 管内商工連會長會議・通常総会(釧路市)
＜根室＞ ◇7日 管内青連通常総会(別海町) ◇9日 管内商工連會長會議・通常総会(中標津町)

商工貯蓄共済実績報告

2005年3月末現在

1	生命加入実績	25,590 件	96,351 口
2	傷害加入実績	1,034 件	4,338 口
3	医療加入実績	6,088 件	25,240 口
4	積立金実績		20,109,024 千円
5	斡旋融資実績 2～3月実績	191 件	48,865 千円
	年度実績	1,205 件	2,956,350 千円
6	斡旋融資残高	3,069 件	7,638,451 千円

編集後記

五月に入り、商工会は総会シーズンを迎え、そろそろ道内各地に桜の便りも届きたす頃かと思えます。

北の瓦版は十三号の発行で三年目となりました。より充実した誌面づくりに向けて、各地の情報を提供いただければ幸いです。

津町)

6月:

＜桧山＞ ◇12日 桧山ブロック

女性部員研修会(大成町)
＜後志＞ ◇9日 後志ブロック女性部員研修会(留寿都村)

